

この一年間に対する市長の思いと決意は？

人のつながりを大切に、住みよい白河を実現する決意



問 市長の思いと決意について、コロナで明けてコロナで暮れた令和2年を振り返り、この一年間に対する市長の思いと来年に向けての決意について。

大事である。今後とも、人と人とのつながりを大切に、市の総力を挙げて、アフターコロナの住みやすい白河を実現していく決意である。

北野 唯道 議員

答 新型コロナウイルスは、2月頃から日本各地で感染拡大の報道が続き、本市においても不安が増幅してきた。3月初旬、一斉休校の要請があり、地域によって感染状況が異なるなか、全国一律の実施には違和感を覚えながらも、万一のことを懸念し、本市も臨時休校に踏み切った。地域の医療経済を下支えするとともに、生きる喜びを与えることも

問 コロナ禍の影響により今年度に予定されていた事業で、中止や縮小延期を余儀なくされた件数について

答 感染拡大により中止した事業32件で4957万3千円の減額、縮小した事業12件で1415万円の減額、合計44件、6372万3千円の減額である。



南湖公園の便座が冷たい…。対処法は？

故障が確認されたので修繕する



問 南湖公園のトイレ整備について

答 公園南側のトイレについては現在、洋式トイレが設置されていないため、ユニバーサルデザインの観点から、洋式トイレの併設について検討する。また、オストメイトトイレの新たな設置については、利用者の声を踏まえ、検討していく。

室井 伸一 議員

問 ヤングケアラーに該当する児童・生徒がいた場合の対応について

答 家庭の状況により、児童生徒が家族の介護をしなければならぬケースが全国で見られるようになってきていることであるが、現在のところこのようなケースは把握していない。把握した場合には、保護者との面談やスクールソーシャルワーカーの活用を通して、児童生徒の「教育を受ける権利」の保障に努める。同時に家庭への支援が必要と考えられる事案については、市の福祉部門へ情報を提供し、適切な支援につなげる。



南湖公園南側トイレ



自然災害に対する防災・減災対策(流域治水)を伺う

災害に強いまちづくりに全力をあげて取り組む



水野谷 正則 議員

問 防災・減災対策について

答 自然災害に対し「備える」ことが重要であり、市民一人ひとりが防災意識を強く持つ必要がある。国県西白河郡の町村と連携し、河川の堆積土砂の撤去などの事前防災対策を展開し、防災力の向上に努め、災害に強いまちづくりに全力で取り組む。

問 白河市地球温暖化対策について

答 温室効果ガスの総排出量を平成25年比で42・2%削減目標に取り組んでいる。

問 白河市街灯LED化整備事業の効果について

答 二酸化炭素排出量は年間約75%削減され、電気料についても年間約2千万円約45%削減される見込み。

問 待機児童対策について

答 令和3年4月1日に、熊田学園が西三坂地区内に認定子ども園の開園を予定。定員は保育園72名、幼稚園36名、合計108名。また、ひがし保育園も来年1月25日から新園舎で保育を始める予定で定員も5名増員の60名になり、令和3年度は待機児童が解消されるものと見込んでいる。



移転改築した、ひがし保育園。定員は5名増の60名。

コロナ禍での成人式開催 感染拡大の防止策は

延期や屋外又は分散開催の自治体も



柴原 隆夫 議員

問 空気が乾燥する冬場を迎え新型コロナウイルス感染症が急増し、コロナ禍での成人式開催を延期又は分散開催とする自治体や独自の負担でPCR検査を行う所もある。無症状の20代、30代の若者が市中感染を拡大しており、感染拡大している東京などの大都市から若者が成人式に帰省し、家庭内感染や飲食により新たな感染者を発生させはしないかと心配されますが。

から延期となった。なお、私は令和2年12月22日付で教育長へ開催延期の要望書を提出した。

問 火災が起きやすい季節となり、分譲地や新興住宅地の住民が消火栓の設置に心配する声がありますが。

答 分譲地などに消火栓を設置する場合は、水道管の敷設工事に合わせ設置している。

問 「感染症対策ガイド」を作成し、成人式出席者へ送付し、感染防止対策を行ったうえで開催をすることとしている。

答 東京等の大都市で感染が拡大し、帰省する若者から新たな感染の懸念



※成人式は延期になりました。2/1 現在、開催時期は未定です。

歴史的風致維持向上計画、市長の思いは？

愛着や誇りを育む「歴史と文化のまち」目指す



須藤 博之 議員

問 歴史的風致維持向上計画における10年間の成果や課題、二期計画策定に向けての市長の思いについて

答 小峰城国史跡の指定、歴史まちづくり計画策定、歴史的建造物の再建、修復費用の支援や史跡等の整備、道路の美装化や無電柱化など良好な町並み景観の形成や南湖北東部の地区計画導入等に取り組んできました。また「れきしら」の作成により郷土愛の醸成を図ってきました。二期計画では、清水門の復元など小峰城跡の魅力向上、街なかの史跡等の観光や芸術との連携強化、若者や女性の新しい発想を取り入れ利活用を促進していく。



無電柱化の「小峰通り」

問 建造物や祭礼の映像記録化とマップ化について

答 建造物の映像記録やマップ化は回遊性の向上に寄与するもので事業化を検討。祭礼は公開を前提とした映像を作成し、DVD等による図書館での閲覧や貸し出しができるよう検討する。



提灯祭りの映像記録化を

問 修学旅行について

答 安心安全を第一に全ての小中学校で実施し、来年度も感染状況を考慮し話し合いの上実施を指導する。

郷土愛とシビックプライドに対する市長の思いは？

故郷に思いを寄せるすべての方々と、一層住みよいまちづくりをめざす



高畠 裕 議員

問 故郷に愛着を感じ地元に戻りたいと思える事業を、市長は今後どのように展開していくのか。

答 白河を離れても、故郷のために貢献しようとする郷土愛の醸成と自分のまちは自分でつくる気概（シビックプライド）を持った若者が育つような様々な支援を学校教育や、地域活動などの機会ですらなる支援をしていく。

問 自転車を活用した観光健康増進、まちづくりについて伺う。

答 サイクルツーリズムをさらに推進し、白河市内を周遊するコースを新たに設定する。また、健康増進を推進する情報発信を行うとともに、自転車利用者のための道路環境整備について検討する。

問 国道294号白河バイパス開通後の中心市街地活性化について伺う。

答 歴史的資源を活用した誘客など小峰城を起点にした新たな周遊コースやまち歩きを推進していく。若者や女性などの出店を促進し、さらなる魅力向上にぎわい創出を図る。



自転車はまちなかの移動手段に最適！

アフターコロナでどうする、旧市民会館跡地は!?

4つの機能を柱とした憩い楽しむ場へ



吉見 優一郎 議員

問 アフターコロナの社会を見据えた旧市民会館跡地の今後の活用の方向性について

答 新しい生活様式が一定程度定着することが見込まれるが、人と人とのコミュニケーションの大切さ、重要性が増すのではないかと考え、人間が本質的に求める機能を盛り込むとともに、健康増進、子育て支援、生きがいづくり、防災対策の4つの機能を柱とし、多くの市民が憩い楽しむ場にしたいと考える。



現在、市役所の臨時駐車場となっている旧市民会館跡地

問 市内にある消防屯所の防犯対策について

答 白河警察署ではパトロールの強化を含め、必要な捜査を実施していることを踏まえて、消防団各分団に対し防犯強化の注意喚起を促すと共に、様々な対策を行い連携強化を図っている。

問 インフルエンザ予防接種の助成対象者の拡大について

答 子育て中の病気に対する不安の緩和や家計を応援するという子育て支援の観点から、ワクチン接種者数の増加が見込まれるため、対応する医師会と協議して検討を進める。



南湖公園の将来を見据えた活用法は?

可能性を秘めた南湖を後世へ 条例化の検討も考える



石名 国光 議員

問 南湖公園の将来を見据えた公園全体の活用方法と、自然環境整備を市長に伺う。

答 南湖は松平定信の土民共衆の理念や十七の景勝地がある風景である。来訪者が南湖の魅力や価値を感じられる憩いの場とするため、安全に周遊できるルートや自然・歴史・文化を伝える仕組みづくりをしていく。大きな可能性を秘めた南湖の大切さと素晴らしさを後世に伝えるため、市の姿勢を示すため条例化の検討も必要であると考える。



問 小峰城搦手門の整備について。本丸く帯曲輪く壮大な石垣を見られる観光回路ルートにするための整備について伺う。

答 搦手門周辺は、郭内と追廻を結ぶ動線として、整備基本計画では散策・歴史探訪ルートに位置付けられ、帯曲輪の整備が済みだし、園路等を整備することになっている。



問 グラウンドゴルフの専用グラウンドの新設要望が多い。見解を伺う。

答 専用グラウンドの新設については、利用状況や競技人口を踏まえ判断したいと考える。

新型コロナウイルスの影響は？

ピンチをチャンスととらえ、全力で取り組む



筒井 孝充 議員

問 来年度予算は何を重点施策に据えて編成するのか

答 コロナ禍で一般財源の確保が困難の中でコロナ対策に万全を期しながら、社会経済が構造的に変化しているこの時機をチャンスと捉え「暮らしやすい白河の魅力発信」「足元の資源を生かした魅力向上」「新たな働き方のデザイン」「子育て世代へのサポート」「子どもたちの創造性を育む教育の推進」「心身ともに健康なまちづくりの推進」の6つの柱を重点的に進める。

問 聖火リレーの変更は

答 走行ルート、ランナーの変更はない。



問 ホストタウンについて

答 市内小中学校において、カタール国の歴史、文化の学習、イスラム教の食文化であるハラール食の給食会等を検討している。



問 給食費の公会計化は

答 導入に向けた課題の解決を行い、公会計化の実施に向けた検討を進める。

問 学校の自動水栓の導入について

答 今後、検討する。



老朽化した公共施設整備について、市長の思いは？

早期に改築または大規模改修等の検討を進める



大竹 功一 議員

問 老朽化した市の施設に對して、11月下旬今後の整備計画について、方針が出された。市長の思いを伺いたい。

答 昭和40・50年代の老朽化した公共施設が数多く残っている。市の財政面も考慮しながらも老朽化が著しい施設は、令和8年を目途に改築又は大規模改修等を行う予定である。



築50年以上経過し、老朽化が著しい中央公民館

問 全国的に身寄りのない独居者が増加していると聞く。この場合、葬儀等をどのようにしているのか伺う。

答 死亡に合わせ、親族等を調査している。しかし、いない場合は市が代理で行い、市の共同墓地に埋葬している。なお、過去5年間で24件の例がある。

問 新型コロナウイルス対策のうち、今回補正予算に計上された高齢者に対するPCR等検査の費用助成の内容について伺いたい

答 対象者は65歳以上の方でデイサービスやショートステイなど居宅サービスを初めて利用する方、陰性と診断された濃厚接触者と接触した居宅サービスを利用している方などである。詳しくは、市担当課へ。



2050年ゼロカーボンシティ(脱炭素都市)宣言を

「環境基本計画」の策定時に検討する



荒井 寿夫 議員

問 首相が二〇五〇年ゼロカーボン(温室効果ガス排出実質ゼロ)宣言を表明し、国会も気候非常事態宣言を決議した。本市もゼロカーボンシティ(脱炭素都市)宣言を出す必要があると考えるが、どうか。

答 国内外のゼロカーボンに向けた動きは承知しており、本市の今までの地球温暖化対策の取組はゼロカーボンシティの趣旨に合致しており、宣言は環境基本計画の策定時に検討する。

問 ゼロカーボンシティ宣言を実施するためには子どもたちへの環境教育を含む

SDGs教育(ESD)の実施が必要と考えるが。

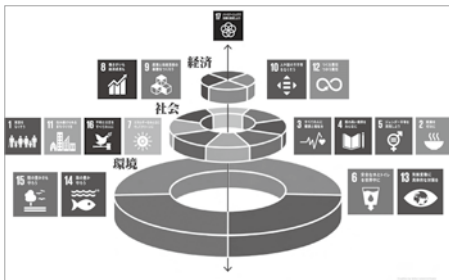
答 本市では小中学校で様々な環境問題学習を実施しており、今後ESDの観点で踏まえた教育を進める。

問 ふるさと納税の本来の理念である地域課題解決・地域活性化のためSNSと「ゆるキャラ」を活用しつつ、住民団体が産品を返礼品、財源としての地域課題解決を支援すべきでは。

答 「しらかわん」による本市魅力PRを進めつつ納税の地域支援活用も考える。



SDGs(持続可能な開発目標)17の目標



SDGsウェディングケーキモデル(17の目標をウェディングケーキのように図式化したもの)

市長が考える防災、減災対策とは？

「自助」「共助」「公助」、互いを高め連携を図ることが大切



山口 耕治 議員

問 市長の考える「住みたい、住み続けたい」と思えるまちづくりにとって大切な防災、減災対策の「自助、共助、公助」の役割について伺う。

答 住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らし続けることは皆の願い。市民が自ら考え、備蓄品の備えや避難行動をとる「自助」、町内会や商店会、近隣の方々が共に支え合う「共助」が極めて重要であると考えている。

それらを補うため「公助」として、ソフト面では、総合防災マップの配付、大田原市や西白河郡内の町村との職員派遣協定、ヨークベニマルなどの災害時の協定を、ハード面では、防災無線の整備や防災ラジオの

配備を行うとともに国土強靱化地域計画や立地適正化計画の策定など、総合的な防災力の強化に努めているところである。

「自助」「共助」「公助」それぞれを高めるとともに連携を図りながら、暮らしに安全と安心感がある住みよいまちづくりに取り組んでいく。



総合防災マップ



防災ラジオ

女性が社会で活躍するために、ワークライフバランス向上の支援を!

女性が生きがいを持って働けるような社会づくりへ向け議論を重ねていく



大木 絵理 議員

問 女性活躍推進について市長の考えを問う

答 女性の社会進出には、

女性が安心して働ける環境をいかに整備するかが重要になると考える。行政、企業、各種団体、市民全体が男女共同参画への意識を高め、女性がいきがいを持って働ける社会づくりを行うために議論を重ねながら、時代に合ったさまざまな施策を講じてまいりたい。

問 本市の働く女性へ対する施策について

答 市は働きたい人や起業したい人など個人を対象に

支援してきた。今後は事業者が自主的に仕事と子育ての両立に取り組めるような支援を検討していく。

問 インクルーシブ教育は、障がいをもつ児童生徒への支援のみならず、障がいのない児童生徒への教育が重要と考えるが、教育長の考えは?

答 支援員や教員は研修会等に毎年参加している。そのため通常学級の子どもも障がいをその子の特性としてとらえ、共に学ぶという意識が育ってきている。今後も特別支援教育に力を入れていきたい。

インクルーシブ教育を実現している石川町のある小学校に設置された難聴用スピーカー



コロナ禍後の本市行政に女性の感性で新風を!

女性の社会参画拡大のため、さらに意識改革施策の議論を重ねる



佐川 京子 議員

問 男女共同参画を進めるため、家庭内の家事や子育ては母親がするのが当たり前との呪縛から解放されること等、男女とも意識改革する施策について

答 女性の社会参画を拡大するためには、男性の積極的な家事参加や役割分担が必要。さらに意識改革になる施策の議論を重ねる。

問 コロナ禍でさまざまな悩みを抱える女性の相談窓口について

答 弱者支援が行政の最優先すべきこと。悩み解決の

入り口の相談窓口が、女性にとっても親しみやすく気軽に話せるよう努め、広報紙やホームページ防災無線等PRし利用を呼びかける。

問 白河出身者へのPRや教育の現場で子ども達に将来ふると納税で白河を応援出来ることを学んでもらうことについて

答 さまざまな機会をとらえ、白河を応援したい気持ちを持つ方が増えるようPRする。納税の意義について考え、生まれ育ったまち白河を応援する児童生徒の育成に努める。



放射能汚染水の海洋放出による風評被害の加速化が心配



極力陸上保管の可能性を探ってもらいたい

深谷 弘 議員



問 市議会は9月定例会で、「多核種除去施設（アルプス）等処理水の処分決定に関する意見書を全会一致で採択し、国等に「関係者・国民の理解と合意が得られるまで陸上保管を継続すること」など3項目を要望した。この問題に対する市長の見解を求める。

答 海洋放出による風評被害の加速化・継続化を心配している。安全性、保管場所などについて議論はいろいろあるが、いちばん心配なのは陸上保管であることは間違いない。極力陸上保管の可能性を探ってもらいたい。

問 これまで繰り返し市民相談窓口の対応改善を求めてきたが、根本的な改善が図られていない。特に経済的に困った場合、どこへ行けばよいのかわからない。滋賀県野洲市や宮城県多賀城市では相談窓口が明確化され、専門のスタッフが対応している。市でもこのような対応ができないか。

答 野洲市、多賀城市では生活困窮者自立支援法に基づく窓口対応を行っている。本市でも他自治体の例を参考に調査研究していく。



請 願 ・ 陳 情

12月定例会で審査された請願・陳情について、その内容と結果についてお知らせします。

◇請願議案

案件番号	案件名・概要	議決結果
請願5 福島県教職員組合西白河支部	「国の制度として「20人程度学級」を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」の送付を求める請願 「国の制度として「20人程度学級」を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」を関係機関に提出すること	不採択（賛成少数） 【不採択の理由】OECD加盟国の大半は30人以下学級になっている。このことから日本国においても30人以下学級の体制を整えることが先決である。

◇陳情議案

案件番号	案件名・概要	議決結果
陳情2 福島県医療労働組合連合会	看護師と介護従事者の特定最低賃金を新設するための意見書提出を求める陳情 看護・介護の深刻な人員不足と賃金の地域間格差を解消するため、「看護師と介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書」を提出すること。	継続審査（※下記参照）
陳情3 新日本婦人の会・白河支部・花みずき班「学校給食を無料にする白河の会」	白河市立の公立小中学校の給食費を無料にすることを求める陳情 令和3年度からの白河市立小中学校の給食費を無料にすること。	不採択（賛成少数） 【不採択の理由】市内の公立小中学校すべての児童生徒の給食費を無料にすることには、多くの課題があるため、今後段階的に取り組む必要がある。なお、本市では多子世帯給食費負担軽減事業で第3子以降の児童生徒の学校給食費は全額助成されている。



※自治法には「会期中議決に至らなかった事件は、後会に継続しない」とする、会期不継続の原則というものがあありますが、継続審査はその例外にあたります。会期中に結論が出ず、しかし会期延長をするほど緊急でもない場合には、継続審査付託を会議で議決し、付託を受けた委員会が行うことができます。